

2018年度 事業報告

2018年度は全国的に災害に見舞われた年となりました。6月は大阪北部地震、7月は西日本集中豪雨、9月は北海道胆振東部地震が発生し、自然災害が多発する中でインフラについて災害に対するレジリエンスが問われる年となりました。三重県においても台風21号、24号の接近により大きな被害を受けた地域があり、改めて地震のみならず風水害に対しても備えの重要性が認識されることとなりました。

このような災害を通して、LPガスは可搬性に優れた安全便利なエネルギーとして広く消費者に受け入れられ、存在感を十分に発揮する一方で充填所等における容器流出、台帳管理など新しい問題点が洗い出されることにもなりました。

また、猛暑の中、熱中症等による痛ましい事故が発生したことで、公立小中学校への空調設置について国も補助金を出すなど対策を加速化させることとなり、GHP、ガス発電機などに注目が当てられ、全国的に業界を挙げて取り組む動きが見られることとなりました。

一方、電力・都市ガスの小売全面自由化の進展により、LPガス業界においてもエネルギー大競争時代に勝ち残るべく、2017年6月より施行された改正液石法省令への対応、また取引適正化指針の遵守、ガス料金透明化の推進など変革に対応をまいりました。

そのような中、消費者から選択されるエネルギーを目指し、研修会の実施、付加価値サービスの提案、お客様相談事業の充実、ガス機器キャンペーンへの参画など積極的に活動を展開しました。

2018年度事業活動及び委員会活動は以下のとおりです。

■需要開発委員会

需要開発委員会の主幹事業は、LPガスの更なる需要拡大、需要創造を図り、LPガスによる豊かな暮らし、快適・便利で安全な暮らしをお客様に提案することです。

「需要開発推進運動」を積極展開し、三重県独自の取り組みも展開しました。

1. 需要開発推進運動の推進

(1) 食育活動「いただきます応援宣言 for kids」

未来を担う子供達に日本の食文化を伝えていくことを目的に、日本独特の文化とされる「いただきます」「ごちそうさま」のことばの意味やお箸の正しい使い方の出前授業を社会貢献活動として、地域協議会と共催で実施しました。

この事業は2013年度から継続しており、本年度は以下の通り開催しました。

- ・ 12月4日(火) 伊勢協議会 伊勢市立二見浦保育園・伊勢市立高城保育園
園児82名
- ・ 2月15日(金) 菰野協議会 菰野町立鶴川原幼保園 園児40名

累計では13回を数え、780名の園児に参加していただきました。

(2) 親子クッキングコンテスト三重実技大会

2014年度から県立相可高校食物調理科の村林先生、生徒さんの全面協力を得て、親

第1号議案

子で楽しく、LPガスの炎で美味しい料理を作るコンテストを開催しております。

本年度は10月27日(土)、県立相可高校食物調理科にて7組の親子に出場いただき、開催いたしました。また、本大会で優勝しました三重県の代表は12月9日(日)に開催された東海大会において「オリジナル賞」を受賞いたしました。

(3) 公立小中学校へのGHP導入活動

国の「熱中症対策としての空調設備設置」の補助金、及び地方債の特例措置などを受けて全国LPガス協会、日本LPガス協会が両会長名で地方自治体に対してGHP導入を要望しました。三重県でも需要開発委員会と卸売協議会がタイアップしながら地域協議会と連携して自治体に対し、公立小中学校へのGHP導入提案に取り組みました。

2. Gライン活動

ガス体エネルギー、ウィズガスとしてガスの良さを訴えることを主目的に活動を展開してきました。

(1) 機器販売キャンペーン

全国LPガス協会の「ワンランクアップキャンペーン」が本年度も開催されるなど、機器販売への取り組みは定着化しており、Gラインとしての機器販売キャンペーンは本年度から取り止めとなりました。

(2) Gラインセミナー(愛知・岐阜・三重)

9月7日(金)、キャッスルプラザ(名古屋市中村区)にて開催され、三重県LPガス協会からは42名がセミナーに出席しました。

- ・ 特別講演 「理念とビジョンによる行動変革」
” キリンビール高知支店V字回復に学ぶ勝つための法則”

講師：田村 潤 氏(元 キリンビール(株) 代表取締役副社長)

(3) Gライン研修会(愛知・岐阜・三重)

本年度は愛知県西三河地域で消費者向けイベントを開催し、研修会は実施しないこととなりました。

3. LPガスワンランクアップキャンペーン

昨年度に引き続き、全国LPガス協会が必要開発推進運動の取り組みとしてキャンペーンを企画しました。当委員会でもキャンペーン趣旨に賛同し、広く会員へ呼びかけ、販売促進の一助として活動に取り組みました。

〈応募結果〉 応募件数 161件(全国 8,165件)、当選数 15名(全国 1,200名)

■流通委員会

流通委員会の主幹事業は、小売に起因する諸問題であります。将来の需要拡大のための広報活動や消費者からの相談事業など幅広く、能動的に活動しました。

1. 業界の発展基盤の強化

(1) お客様相談所

お客様相談所を継続開設し、消費者からの多様な相談に応え、業界への理解と地位向上を目的に事業を行いました。

第1号議案

- ・ 相談件数 33件（前年度比 △28件）
（主な増減は、LPガスの価格 △9件、販売店の移動 △11件、保安関係 +5件）
- ・ お客様相談所委員会の開催

1月22日（火）、プラザ洞津で消費者代表として三重県地域婦人団体連絡協議会、四日市消費者協会、また行政担当委員として三重県消費生活センター、三重県防災対策部消防・保安課を招いて開催しました。その後、リンナイ㈱三重営業所によるガス機器関連の研修を実施しました。

(2) LPガス料金の透明化、取引の適正化に関する活動

昨年度より取り組んできましたが、引き続き改訂された「液化石油ガスの小売り営業における取引適正化指針」を遵守すべく、本年度においてもあらゆる機会を通じて周知活動を行いました。

また、1月には三重県LPガス協会独自の料金公表調査を実施し、進捗状況を把握するとともに料金公表の推進に努めました。ご協力、ありがとうございました。

(3) 広報活動

昨年度までの3県（愛知、岐阜、三重）合同によるテレビCMから三重県単独のCMに変更しました。オリジナルキャラクターを用いた「協会イメージソング」、「マイコンメーター復帰」の二本のCMを作製して、三重テレビにて12月より放映を開始しました。

また、新聞広告については従来通り3県が合同で実施し、中日新聞へ10/10（水）（LPガスの日）に掲載いたしました。

■保安委員会

保安委員会の主幹事業は、「保安なくして事業なし」との言葉通り、自主保安をさらに高度化し、信頼され、愛され、選ばれる業界・選ばれる事業者を目指すことをテーマに以下の事業を推進しました。

1. 保安の確保の充実

(1) 保安啓蒙活動補助金事業

各地域における保安啓蒙活動への支援として事業補助制度を設けており、今年度は5地域、6事業で活用いただきました。地域イベント事業への参画に加えて、NTTタウンページが発行する防災タウンページに保安啓蒙記事を掲載するなどの活動に取り組みました。

(2) LPガス快適生活向上運動 “もっと安全さらに安心”

昨年度までのLPガス安全応援推進運動 “すべてはお客様の安心のために” の考え方を踏襲し、本年度から新たに「お客様が安心してLPガスを利用できる状況にする」ために、これまでに実施してきた事故防止対策等の検証を行うとともに、地域性を踏まえた対策を実施してきました。

その一環として「自主保安活動チェックシート」を活用し、項目ごとの強い点の一層の向上と弱い点の改善を図り、事故防止対策に繋げてまいりました。

- ・ 回収率 三重県 88.9%（全国平均 88.8%）

第 1 号議案

(3) 地域保安指導事業

保安高度化運動として、3 会場で保安関係講習会を実施し、保安教育の一環として活用いただき、172 名が受講しました。

開催日	開催地	講習内容	受講者
10月30日	エルピーガス会館	保安業務指導・立入調査報告	55名
11月7日	四日市市文化会館	保安業務指導・立入調査報告	63名
11月27日	県営サンアリーナ	保安業務指導・立入調査報告	54名

保安関係講習会に併せて新コスモス電機(株)、理研計器(株)によるガス検知器、CO測定器の無料診断を実施しました。

■災害対策等委員会

災害対策等委員会は、喫緊と想定される「南海トラフ巨大地震」などの対策整備が急務であり、地域協議会とともに県及び関係機関との連携、中核充填所との連携整備を中心に能動的に活動しました。

1. 災害時における対応強化

(1) 災害時対応機器備蓄

この事業は7年目に入り、本年は木曾岬町に災害時対応機器を備蓄し、地域社会貢献活動として実施しました。

年度	備蓄先
2012年	尾鷲市 尾鷲市防災センター 南伊勢町 旧町立五ヶ所中学校
2013年	熊野市 市立木本中学校 鳥羽市 旧鳥羽小学校跡地
2014年	伊勢市 光の街コミュニティーセンター 紀北町 紀北町役場
2015年	志摩市 志摩市鶴方防災児童公園 大紀町 錦支所
2016年	松阪市 鈴の森公園駐車場 明和町 明和町総合体育館
2017年	四日市市 南部拠点防災倉庫 —
2018年	木曾岬町 木曾岬町防災センター —

(2) 災害対策の整備

ガス事業者からの被災状況報告について全国LPガス協会が全国統一書式を作成いたしました。三重県LPガス協会ではその書式を基にさらに改良を加えて報告書式を作成いたしました。今後、情報伝達訓練を実施する中で各地域協議会の意見を踏まえて実効性のあるものにしていきたいと考えています。

(3) 大規模津波防災総合訓練

11月3日(土)、四日市港霞ふ頭で「平成30年度大規模津波防災総合訓練」が開催され、三重県からの要請を受けて参加しました。この訓練は平成16年に発生した「スマトラ沖地震」を契機に地震津波による被害の軽減を目指すとともに津波に関する知識の普及・啓発を目的として平成17年から毎年全国で順次実施しているものです。

■中核充填所委員会

中核充填所とは、東日本大震災の教訓を活かすことを目的に石油の備蓄の確保等に関する法律を改正し、「災害時石油ガス供給連携計画」を地域単位で義務付けて、自立供給機能を持つ充填所を全国に指定し整備したもの（現在、全国 342 箇所、県内 11 箇所）。

それに伴い、中核充填所委員会では災害時に備えて行政や関係機関、第 4 地域（東海 3 県、北陸 2 県）や全国 L P ガス協会とも連携し、活動してきました。

1. 災害時石油ガス供給連携計画に基づく実施訓練

(1) 三重県中核充填所稼働訓練

10 月 10 日（水）、㈱ホームエネルギー東海四日市 LPG センターをメイン会場として、また石井燃商㈱員弁充填所をサブ会場として中核充填所機能を稼働させる訓練を実施し、中部経済産業局、三重県、四日市市、四日市南警察署、地域自治会関係者など多くの方々にも訓練を見学いただきました。

また、日本赤十字社三重県支部からも訓練に参加いただき、炊出しの指導をいただきました。

(2) 第 4 地域連携情報伝達訓練

11 月 28 日（水）、経済産業省の実施勧告を受けて、三重県南方沖を震源とする震度 7 の地震発生を想定した第 4 地域情報伝達訓練を実施しました。

(3) 石油ガス地域防災対応体制整備事業（中核充填所整備補助金事業）

各地域における協議体制の整備等及び地域防災訓練実施を行うための事業費補助金（120 万円）を受け、稼働訓練機材及び防災機器を整備しました。

(4) 高圧ガス実験・訓練

10 月 18 日（木）、三重県消防学校において、高圧ガス移送時の事故発生に対し、被害を最小限度に留めることを目的に容器からのガス漏洩時における消火訓練、及び防災工具を用いた警戒区域の設定などの訓練を実施しました。併せて L P ガス発電機の展示や稼働を実施し、災害時の有用性をアピールしました。

■総務委員会

総務委員会では、組織としてのコンプライアンス、ガバナンスを重視し、会員サービスの拡充、会員支援、業界情報の発信など健全な運営を目指してまいりました。また、協会建物、施設、備品等の適正な維持管理に努めました。

(1) 「L P ニュースみえ」の発行（8 月、1 月の 2 回発行）

(2) 会員サービスの拡充

L P ガス販売における付加価値サービスとして「L P ガス協会安心サポート・駆けつけ新選組」の制度を導入し、2019 年 1 月からの実施に向け、会員へ募集を募りました。

(3) エルピーガス会館の塗装工事

平成 13 年 4 月に会館が竣工してから約 18 年経過し、鉄骨部の錆、塗装の劣化が顕著となったため、建物の一部の塗装と補強工事を実施しました。

第 1 号議案

(4) エルピーガス会館の貸し出し

会館会議室の不使用日に会員、又は会員の関連団体に限定して貸し出しを行い、会員への便宜を図ることとしました。

(5) その他事業の促進

その他事業 1 (幹旋物販売事業)

その他事業 2 (教材販売事業)

その他事業 3 (教育事業)

その他事業 4 (共済事業)

その他事業 5 (全 L 協 L P ガスライフ事業)

■青年委員会

青年委員会では、次世代を担う後継者を中心に若者らしく自由闊達な活動を期待しておりますが、各地域で会員不足で活動ができない事態が起きております。そのような状況下、青年委員会では現実的な問題に対する研修活動等に積極的に取り組みました。

(1) 研修会「同業に学ぼう！」〈三重県卸売協議会との共同開催〉

この研修会は、次代に飛躍するチャンスを活かすべく、変化の風をとらえ、いかにエネルギー間競争で存在感を示し、勝ち残るかをテーマに研修会を毎年開催しております。

第 6 回目として、3月 14 日 (木)エルピーガス会館にて下記の通り実施しました。

講演 ① 「公共施設等へのGHP導入について」

パナソニック産機システムズ(株)

講演 ② 「お客様サービス向上のための合理化」

(有)中村ホームガス 代表 中村幸太郎 氏

研修会の参加者は 58 名でした。

(2) 火育活動「炎に学ぼう！」

炎の文化継承を目的に下記の通り、火起こし体験等の出前授業を実施しました。

- ・ 「いなべ市立 阿下喜小学校」 7月 10 日 (火) 参加者 5 年生 23 名
- ・ 「いなべ市立 石樽小学校」 7月 25 日 (水) 参加者 5 年生 55 名

■公益目的支出計画に定めた主な実施事業

1. 公益目的財産額と公益目的支出計画実施状況

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| ① 認可時公益目的財産額 | 112,800,235 円 | (2013 年 6 月確定) |
| 公益目的支出計画の実施期間 | 16 年間 | |
| ② 期首公益目的財産額 | 57,115,315 円 | |
| 当期公益目的支出額 | 7,301,994 円 | |
| ③ 期末公益目的財産額 | 49,813,321 円 | |

(1) 継続事業 1 災害対策事業

(被災時の初期対応及びライフラインとしてのLPガスの復旧支援事業等)

① 災害時対応機器備蓄事業

- ・ 8 月 7 日 (火) 木曾岬町/木曾岬町防災センター

(2) 継続事業 2 広報事業

(機器の適正な管理による保安の確保、エネルギーの賢い使用方法等についての紹介)

① 広報事業

12 月～1 月 三重テレビ 三重県LPガス協会オリジナルCMの放映
中日新聞への広告掲載(愛知県、岐阜県、三重県共同事業)

② 食育活動「いただきます。応援宣言 for kids」

- ・ 12 月 4 日 (火) 伊勢協議会 伊勢市立二見浦保育園・伊勢市立高城保育園
園児 82 名
- ・ 2 月 15 日 (金) 菰野協議会 菰野町立鶴川原幼保園
園児 40 名

③ 火育活動「炎に学ぼう！」

- ・ 「いなべ市立 阿下喜小学校」 7 月 10 日 (火) 参加者 5 年生 23 名
- ・ 「いなべ市立 石樽小学校」 7 月 25 日 (水) 参加者 5 年生 55 名

(3) 継続事業 3 啓蒙事業

(広報事業との連携事業、展示会や講演などによる保安啓蒙活動)

① 地域保安啓蒙活動補助金事業

5 地域協議会 6 事業活動に補助金として支援

② 全国親子クッキングコンテスト

- ・ 10 月 27 日 (土) 三重実技大会 県立相可高校食物調理科
- ・ 12 月 9 日 (日) 東海大会 東邦ガス栄ガスビル

以上